

# ご家庭で余っている食品

# 廃棄せずにご提供ください!

「フードドライブ」は、ご家庭で余っている食品をご提供いただき、社会福祉団体を通じて生活支援が必要な方などに寄付する活動です。

余った食品を捨ててしまうとごみ処分費用が発生します。(環境負荷も増大します。) この「もったいない」を、生活支援が必要な方にお渡しすることで、「ありがとう」に変えていきたいと考えており、福島県南会津地方振興局、檜枝岐村、南会津町が合同で「南会津地方フードドライブ」を実施することとなりました。

ご家庭で余っている食品があれば、「食品ロス削減の日」である10月30日(水)から11月1日(金)までの期間に、受付場所までお持ちください。

このフードドライブに参加いただきながら、各家庭における食品ロスやごみの削減について考えてみませんか?

## 受付期間

令和6年10月30日(水)～11月1日(金)

いずれの日も9:00～12:00又は13:00～17:00の間にお持ちください。

## 受付場所

受付期間内に、対象食品を次のいずれかの場所にお持ちください。

受付時に本人確認(免許証、マイナンバーカード、保険証等)をご提示いただきます。

【南会津町】※南会津町内にお住まいの方、南会津町内に通勤・通学されている方が対象です。

- ① 福島県南会津地方振興局 県民環境部 (南会津町田島字根小屋甲4277-1)
- ② 南会津町 環境水道課 (南会津町田島字後原甲3531番地1)
- ③ 南会津町 館岩総合支所 振興課 (南会津町松戸原50番地)
- ④ 南会津町 南郷総合支所 振興課 (南会津町山口字村上864番地)
- ⑤ 南会津町 伊南総合支所 振興課 (南会津町古町字館跡998番地)

【檜枝岐村】※檜枝岐村内にお住まいの方、檜枝岐村内に通勤・通学されている方が対象です。

- ① 檜枝岐村 住民課 (檜枝岐村字下ノ原880)

## 対象食品

- ① 米
- ② 保存食品(缶詰、インスタント食品、レトルト食品等)
- ③ 乾物(乾麺、のり、昆布等)
- ④ 飲料(アルコール類を除く)
- ⑤ 菓子

【①～⑤共通の条件】

- ※ 未開封のもの
- ※ 賞味期限が明記され、かつ1か月以上あるもの(米、塩は除く)
- ※ 常温で保存可能なもの



主催 福島県南会津地方振興局、檜枝岐村、南会津町

問合せ先 電話 0241-62-5206 (南会津地方振興局県民環境部)

10月は食品ロス削減月間  
10月30日は食品ロス削減の日 です！

ウラ

# 「食品ロス」について みんなで考えよう！

## 食品ロスとは？

**食品ロスは、食べられるのに捨てられてしまうものです。**

家庭で発生する例) ・手つかずの食品 ・食べ残し ・過剰除去(皮の剥きすぎ等)

国民全員が毎日、おにぎり1個分の食品を捨て続けている

食品ロスが与える影響とは？



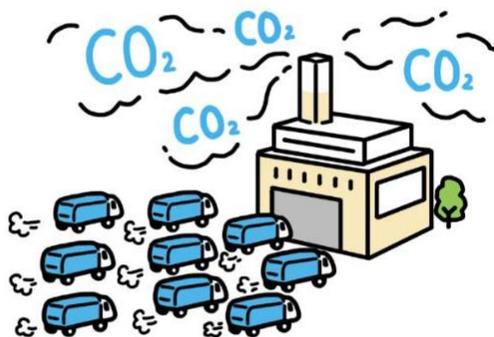
出典：農林水産省及び環境省推計(令和3年度)、総務省人口推計(2021年10月1日)

日本の食品ロス量である約523万トン、国民一人当たりの食品ロス量として換算すると、毎日おにぎり1個分(約114グラム)の食品を捨てている計算になります。一方、日本の食料自給率は諸外国に比べて低く、輸入に頼る部分も多いです。こうしたことを考えても、たくさんのお食糧を廃棄している現状を変えていく必要があります。

※農林水産省HPより

([https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2310/spe1\\_01.html](https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2310/spe1_01.html))

ゴミ処理費用が増大、  
CO2排出で環境にも影響



食べられるはずのものが捨てられるだけではなく、ゴミの焼却にともなう環境問題も深刻です。特に、水分を多く含む食品の焼却には多くのエネルギーが必要となえ、処理費用も掛かります。また、焼却時には二酸化炭素(CO2)が排出され、焼却後の灰を埋め立てる土地の問題も発生します。もし、食品ロスを100トン削減できれば、46トンもの二酸化炭素を削減できます。

出典：「食品ロス削減ガイドブック」(消費者庁)

## 食品ロスを減らすには？

- ☑ **買いすぎない** ⇒ 必要な物を、必要な量だけ、必要な時に買いましょう。
- ☑ **食べきる** ⇒ よく考えて調理、注文し、できるだけ食べきりましょう。
- ☑ **使い切る** ⇒ 食材は、工夫して調理・保存し、上手に使い切りましょう。

**食べきれない、使い切れないときは「フードドライブ」を活用しましょう！**

## 【PR】福島県環境アプリも活用しよう！

福島県環境アプリは、各市町村のごみ収集日を通知してくれる便利なアプリです。日々のエコ活動(エコアクション)や連携店で獲得したポイントで、県産品などの抽選に応募できます。投稿機能を使えばエコアクションの共有も可能！この機会に福島県環境アプリと一緒にエコアクションしませんか。

